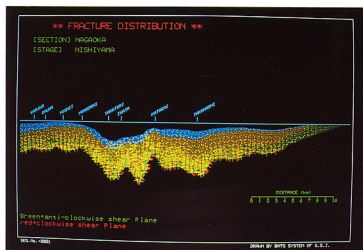


# 堆積盆構造解析用シミュレーター

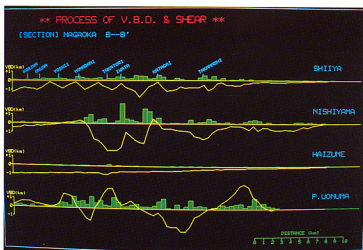
小玉 喜三郎

Kisaburo KODAMA



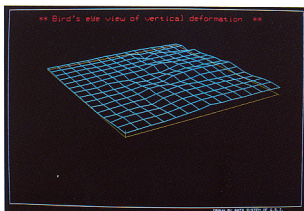
←口絵1

長岡平野地下深部に推定される断裂系分布（西山層堆積期）。(本文P.13 参照)。



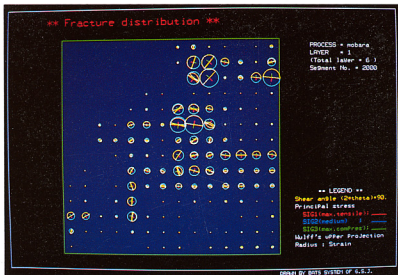
口絵2→

同、各テクトニック・ステップの最速基底変位(折線グラフ)と基底部の歪量(棒グラフ)。(本文P.13 参照)。



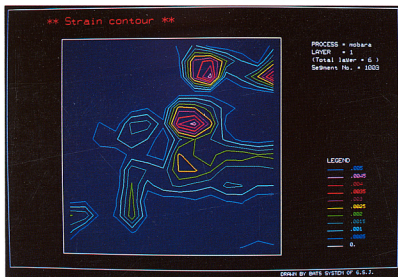
←口絵3

千葉県茂原地域の第四紀後期における仮想基底変位(深度3km)。(本文P.13 参照)。



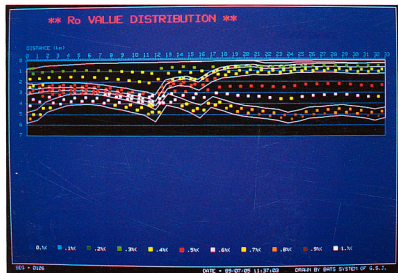
←口絵 4

同。最適基底変位による仮想基底の変形形  
 (本文P.13参照)。



←口絵 5

同。最下位層の歪分布。(本文P.13参照)。



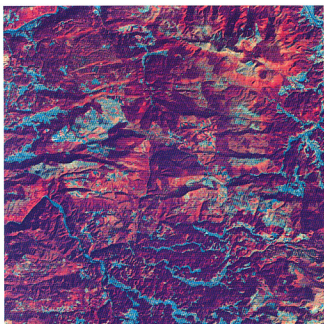
←口絵 6

モデル断面でのRo(%)分布。(本文P.15参照)

# 地質調査所の画像処理システムについて

浦井 稔・佐藤 功 (地殻物理部)

Minoru URAI Isao SATO



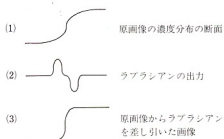
(a)

## ←図7

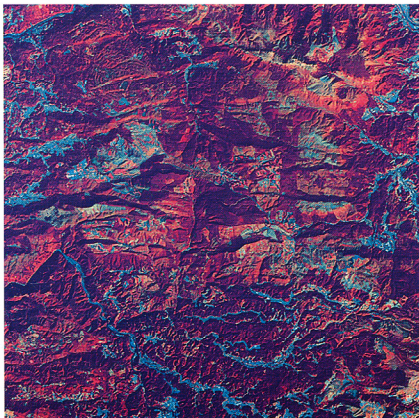
大分県北西部の万年山付近の LANDSAT TM 画像  
(a)バンド4 3 2を赤 緑 青に割り当てた画像  
(原画像)

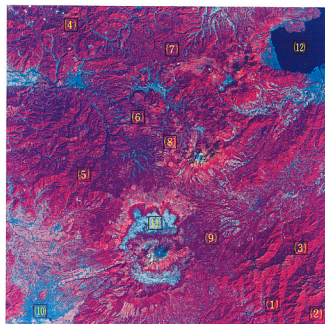
(b)原画像にアンシャープマスキング処理をくわえパター  
ン情報(エッジ)を強調した画像

アンシャープマスキング処理は 画像のにじみによ  
ってはけを生じた原画像(1)からその二次微分であるラ  
ブラシアン(2)を差し引くことによってエッジを強調(3)  
する方法である。この方法は 比較的簡単に画像のエ  
ッジを強調することができる。(本文P.17 参照)。



(b)

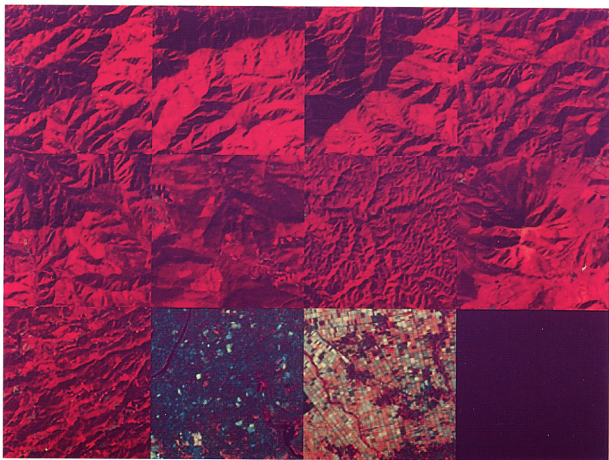




(a)

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)	(7)	(8)
(9)	(10)	(11)	(12)

(b)



#### ←口絵 8

九州北部の LANDSAT TM 画像に見られるテクスチャ

(a)九州北部の LANDSAT 5号 TM 画像 撮影年月日 22 /OCT/84, 軌道フレーム番号 D112-037, 太陽位置 EL38A147, 画像の範囲は約90km×90km.

(b) (a)の矩形部分を拡大したもの

番号は左から右へ 上から下へ, 各画像は3.6km×3.6km (128ピクセル×128ピクセル), 地質区分は20万分の1地質図幅「大分」(対馬・小野 1958)および豊肥地熱地域地質図(玉生ほか 1982)による。(本文P.18 参照).

- (1)戸川岳 古生代 上部古生層
- (2)大崩山 中新世 花崗岩
- (3)傾山 中新世 祖母山流紋岩
- (4)英彦山東 鮮新世 宇佐層群
- (5)酒吞童子山 更新世前期 筑紫溶岩
- (6)万年山 更新世中期 万年山溶岩
- (7)深耶馬溪 更新世中期 耶馬溪溶結凝灰岩
- (8)涌蓋山 更新世後期 涌蓋山溶岩
- (9)波野原 更新世後期 阿蘇火砕流
- (10)熊本市 市街地
- (11)阿蘇谷 水田
- (12)別府湾 海